

拡大中学校区の取組

十日町中学校区

十日町中学校



十日町小学校



東小学校



中条中学校



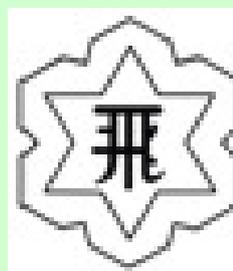
中条小学校



東小学校



飛渡第一小学校



中条中学校区

令和7年度 拡大中学校区

小中一貫教育グランドデザイン



<中学校区の児童・生徒の姿>

- 知:素直に学習に取り組む児童生徒が多い。
- 徳:規範意識が高い児童生徒が多い。
- 体:運動・体力習慣の二極化が見られる。
生活習慣を心掛けている家庭が多い。

<小中9年間で目指す姿>

- 豊かに関わり、
粘り強く挑戦する児童・生徒

Hopホップ!小1~小4【基礎・定着】

目標をもち、

<学習規律の習得・定着>

- 〇話す、聞く、読む、書くの基本的技能をしっかりと身に付けさせる。
- 〇学習活動で目標設定と振り返りを行う時間を設定する。

<家庭学習習慣の定着>

- 〇家庭と連携して宿題に確実に取り組む習慣を身に付けさせる。

Stepステップ!小5~中1【習得・充実】

自ら学習に取り組む力

<表現力の育成>

- 〇協働的な学びへ向けた表現方法の指導を工夫する。(ICT活用を中心に)
- 〇学習活動で目標設定と振り返りの指導を重点的に行う。

<自分から課題を見付け、実行する力の育成>

- 〇宿題+自主学習のやり方を身に付けさせる。

Jumpジャンプ!中2・中3【活用・発展】

を育てます!

<活用力・探究力の向上>

- 〇進路の実現に向けた自己の課題発見力や課題解決力を高める。
- 〇目標設定と振り返りをサイクル化する力を育む指導を重点的に行う。

<タイムマネジメント力の向上>

- 〇自己の学習傾向を把握し、PDCAサイクルで取り組む力を高める。

知育

困難に立ち向かう力と自己有用感

を育てます!

<基本的マナーの習得・定着>

- 〇あいさつや返事、他者に対する礼儀をしっかりと身に付けさせる。
- 〇豊かな体験活動、感動体験を体得できる場をつくる。

<自己有用感の育成>

- 〇場や相手の立場に応じた言動を身に付けさせる。
- 〇自分と仲間の違いに気付き、協力しようとする活動の場をつくる。

<向上心と自己指導能力の向上>

- 〇自己の目標を設定し、挑戦し続けようとする態度を身に付けさせる。
- 〇自分と仲間の違いを認め、協力し合う活動の場をつくる。

徳育

日常的に運動・健康増進に取り組もうとする力

を育てます!

<多様な運動経験・基本的生活習慣の定着>

- 〇運動を楽しみながら、様々な動きを豊富に経験させる場をつくる。
- 〇基本的生活習慣の意識化を図る。
- 〇心の健康を保つ礎をつくる。

<運動経験の拡大・自己の健康課題を見直そうとする態度の育成>

- 〇経験した動きを組み合わせて、工夫したりしながら高める活動を重視する。
- 〇基本的生活を自己決定し、実践するスキルを教える。
- 〇心の健康を保つスキルを教える。

<自己の運動・健康課題を克服する態度の向上>

- 〇自己の課題を把握し、目標をもちながら運動に親しむ態度を身に付けさせる。
- 〇基本的生活を自己決定し、実践するスキルを身に付けさせる。
- 〇心の健康を保つスキルを身に付けさせる。

体育

特別支援

「自分のよさ」と「友達のよさ」に気付く活動に取り組む。

自己有用感を高める活動に取り組む。

社会的な自立を目指す活動に取り組む。

キャリア

自分の成長を振り返る場をつくり、これからの目標をもたせる。

働くことの意義を理解させ、自分の将来について考える場をつくる。

職場体験・高校見学等を通して、具体的な進路を設計する力を身に付けさせる。

十日町中・中条中学校区小中一貫だより

十日町市学校教育のめあて

「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子どもの育成」

令和7年4月発行

学区で目指す
子どもの姿

豊かに関わり、粘り強く挑戦する児童・生徒

拡大中学校区の小中一貫教育

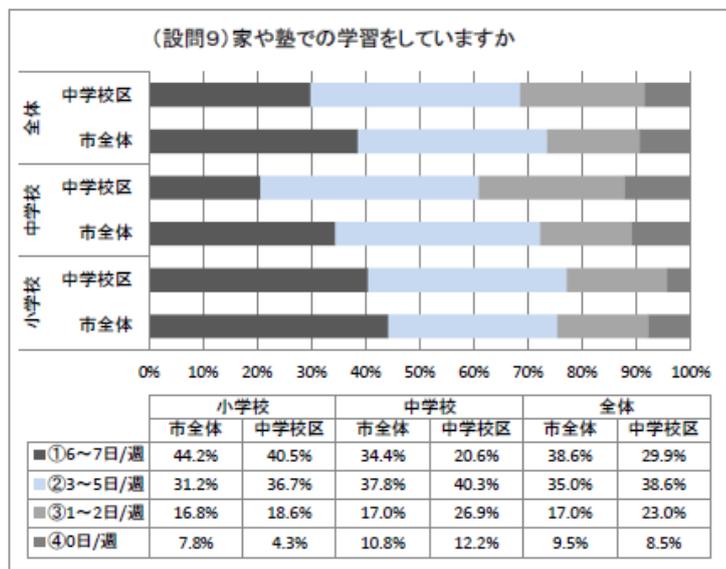
十日町市では義務教育9年間を通して児童・生徒を育てるという視点から、小中学校間の円滑な接続を図り、系統的・効果的な学習指導体制を確立する目的で、平成26年度より小中一貫事業を本格実施しています。

私たちの学区は十日町中と中条中の学区を合わせた六つの小中学校で「拡大中学校区」を形成しています。児童生徒数約1,000名、教職員数約100名が所属する市内最大規模の学区です。二つの中学校区が連携する形は全国でも珍しく、互いの中学校が培ってきた伝統・校風を生かしながら、共通して取り組めることを実践する「ゆるやかな連携」を基本理念として、「知・徳・体」それぞれの部門に分かれて、9年間を見通した育成計画（グランドデザイン）を作成し、様々な取組を行っています。



授業における共通取組事項

- (1) 認め合う学級づくりの推進
- (2) 主体的・協働的に学習に取り組む力を育てる授業の実現
- (3) ICTを活用した授業づくりの推進



令和6年度に行ったアンケート結果です。「家や塾での学習をしていますか」という問いに対して、小中学校合わせて市全体に比べると若干低い結果が出ました。拡大中学校区として、家庭学習の定着が課題です。宿題の出し方や内容等、工夫していきます。また、年3回、学校ごとに家庭学習協調ウィークを設定し、家庭学習に力を入れます。ぜひ、ご家庭での声掛けやサポートをよろしくお願い致します。

挨拶運動

10月に中学校が出身小学校に向き、小学生と一緒に挨拶運動を行います。挨拶の輪が広がる温かい学校づくりを目指します。



小中交流会

11月に十日町中・中条中それぞれが学区の小学6年生を招待し、交流会を行います。中学校の授業を参観したり、部活動見学を行ったりします。そして、安心して生活できる学校づくりを目指し、仲間同士の絆を深めるために、いじめ見逃しゼロスクール集会を実施します。小中学生が交流しながら、より良い人間関係について考えます。

また、「教えて！センパイ！大丈夫だよ、6年生！」と題し、小学生が中学校生活への不安や心配事を先輩に質問し、中学生が回答するメッセージ交換を行うことで、小学生の不安を軽減し、スムーズに中学校生活を送れるようにします。



拡大中学校区の日

8月に「拡大中学校区の日」を設定し、拡大中学校区6校での教職員合同研修を実施します。毎年有意義な研修となり、教職員のスキルアップにつながっています。令和7年度は、特別支援教育に関する講演会を予定しています。



この他に、教職員が学区内の各校で行われる授業研究等に参加したり、小中学校を互いに行き来して授業をしたりして、小中の連携を図っていきます。

令和7年度の主な活動予定

4月上旬	リーフレット「拡大中学校区の取組」発行	
5月8日・9日	小中授業参観	小学校の教職員が、中学校1年生の授業を参観します。
5月～7月	家庭学習強調ウィーク①	学校ごとに期間を設定し、家庭学習に力を入れます。
8月6日	拡大中学校区の日	教職員合同研修会を行います。
10月7日・8日	挨拶運動	中学1年生が小学校に出向き、挨拶で小学生と交流します。
11月	家庭学習強調ウィーク②	学校ごとに期間を設定し、家庭学習に力を入れます。
11月26日	小中交流会	授業参観・いじめ見逃しゼロスクール集会・部活動見学を行います。
1月～2月	家庭学習強調ウィーク③	学校ごとに期間を設定し、家庭学習に力を入れます。
3月	小中授業参観	中学校の教職員が、小学校6年生の授業を参観します。